

平成29年度 地歴・公民科：SG世界史A

コース・単位数	1年：特進コース・アスリート特進コース・普通コース（2単位）			
学習の到達目標	近現代史を中心とする世界の歴史を、我が国の歴史と関連づけながら理解し、人類の課題を多角的に考察することによって歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。			
教科書	世界の歴史 世界史A改訂版(山川出版社)	副教材	プロムナード世界史（浜島書店） 世界の歴史ノート（山川出版社）	
評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
	積極的に授業内容を理解し、参加することができた。	グループワークを通じ、役割を果たすことができたか。	板書等をノートに整理できたか。レポートを作成できたか。	定期テスト・小テストへ向け予習・復習ができたか。
評価方法	授業での発言、ノート、レポートの提出	グループワークの発表	ノート、レポートの提出	定期テスト・小テストの実施

学年	学習単元	学習方法	評価のポイント		
1年	第1部 世界の一体化と日本	東アジアの風土と人々、中国文明の誕生、秦・漢時代について、視覚教材・年表など使用して学習する。アジアの文化をグループ学習する。	東アジアの風土と人の暮らしを理解できたか。中国の歴史と文明のつながりをとらえることができたか。		
	第1章 世界の諸文明				
	第2章 世界の一体化の始まり			アメリカ大陸の風土と人々、アフリカ大陸の風土と人々、香辛料と銀、アジアの通商とヨーロッパ人の交易を、視覚教材などで学習する。	アメリカ大陸・アフリカ大陸の風土と人の暮らしを理解できたか。
	第3章 近代の世界	啓蒙の世紀、革命の時代、グループで探究し学習する。	科学、哲学、経済学など人の無知から解放された時代背景が理解できたか。アメリカ独立革命・フランス革命・イギリス産業革命など諸革命の成り立ちや意義をとらえることができたか。		
	第2部 地域社会と日本	工業化の進展と労働者の境遇改善、大衆社会の登場、新しい芸術など史料集を活用し学習する	大衆社会の始まりと科学技術の進歩をもたらした資本主義の特色が理解できたか。		
	第1章 現代の始まりと帝国主義				
	第2章 二つの世界大戦			バルカンの紛争、大戦の勃発、総力戦、世界大戦について、視覚教材でイメージを膨らませ、更にグループ活動において国別の探求を加え、全員の発表を通して学習する。	第一次世界大戦と第二次世界大戦における世界のうねりと変化を理解できたか。
	第3章 平和と冷戦			戦後世界秩序の形成、東西両陣営の形成、冷戦とアジアについて、グループ活動の中で史料集を活用しながら、互いに学びあい学習する。	冷戦の続く中での平和を希求する戦後の世界秩序の成り立ちを理解できたか。冷戦とアジアのつながり、冷戦の構造を理解できたか。
主題学習 持続可能な社会への展望	携帯電話に含まれる資源・環境問題との関連、通信産業の発達について、視覚教材の活用の中で現代の抱える問題を全員で討議する。	IT 機器のツールがもたらす利便と問題点を探りだせたか。			

平成29年度 地歴・公民科：世界史A

コース・単位数	2年：特進理系コース・特進文系コース・アスリート特進コース・理系コース（2単位）			
学習の到達目標	近現代史を中心とする世界の歴史を、我が国の歴史と関連づけながら理解し、人類の課題を多角的に考察することによって歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。			
教科書	世界の歴史 世界史A改訂版(山川出版社)	副教材	プロムナード世界史（浜島書店） 世界の歴史ノート（山川出版社）	
評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
	積極的に授業内容を理解し、参加することができた。	グループワークを通じ、役割を果たすことができたか。	板書等をノートに整理できたか。レポートを作成できたか。	定期テスト・小テストへ向け予習・復習ができたか。
評価方法	授業での発言、ノート、レポートの提出	グループワークの発表	ノート、レポートの提出	定期テスト・小テストの実施

学年	学習単元	学習方法	評価のポイント
2年	第2部 世界の一体化と日本 第4章 世界の諸文明	東アジアの風土と人々、中国文明の誕生、秦・漢時代について、視覚教材・年表などを使用して学習する。	東アジアの風土と人の暮らしを理解できたか。中国の歴史と文明のつながりをとらえることができたか。
	第5章 世界の一体化の始まり	アメリカ大陸の風土と人々、アフリカ大陸の風土と人々、香辛料と銀、アジアの通商とヨーロッパ人の交易を、視覚教材などで学習する。	アメリカ大陸・アフリカ大陸の風土と人の暮らしを理解できたか。
	第6章 近代の世界	啓蒙の世紀、革命の時代、グループで探究し学習する。	科学、哲学、経済学など人の無知から解放された時代背景が理解できたか。アメリカ独立革命・フランス革命・イギリス産業革命など諸革命の成り立ちや意義をとらえることができたか。
	第3部 地域社会と日本 第4章 現代の始まりと帝国主義	工業化の進展と労働者の境遇改善、大衆社会の登場、新しい芸術など史料集を活用し学習する	大衆社会の始まりと科学技術の進歩をもたらした資本主義の特色が理解できたか。
	第5章 二つの世界大戦	バルカンの紛争、大戦の勃発、総力戦、世界大戦について、視覚教材でイメージを膨らませ、更にグループ活動において国別の探求を加え、全員の発表を通して学習する。	第一次世界大戦と第二次世界大戦における世界のうねりと変化を理解できたか。
	第6章 平和と冷戦	戦後世界秩序の形成、東西両陣営の形成、冷戦とアジアについて、グループ活動の中で史料集を活用しながら、互いに学びあい学習する。	冷戦の続く中での平和を希求する戦後の世界秩序の成り立ちを理解できたか。冷戦とアジアのつながり、冷戦の構造を理解できたか。
	主題学習 持続可能な社会への展望	携帯電話に含まれる資源・環境問題との関連、通信産業の発達について、視覚教材の活用の中で現代の抱える問題を全員で討議する。	IT 機器のツールがもたらす利便と問題点を探りだせたか。

平成29年度 地歴・公民科：世界史B

コース・単位数	2年：特進文系コース・アスリート特進コース（4単位） 3年：特進文系コース・アスリート特進コース（4単位）			
学習の到達目標	世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解させ、文化の多様性・複合性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。			
教科書	詳説世界史（山川出版社）	副教材	プロムナード世界史（浜島書店） 要点整理セミナー世界史（浜島書店） 世界史研究ノート標準編（啓隆社） 新課程大学入試センター試験対策 チェック&演習世界史B（数研出版）	
評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
	積極的に授業内容を理解し、参加することができたか。	グループワークを通じ、役割を果たすことができたか。	板書等をノートに整理できたか。レポートを作成できたか。	定期テスト・小テストへ向け予習・復習ができたか。
評価方法	授業での発言、ノート、レポートの提出	グループワークの発表	ノート、レポートの提出	定期テスト・小テストの実施

学年	学習単元	学習方法	評価のポイント
2年	序章 先史の世界	人類が自然環境に適応しながら進化し、農耕・牧畜を基礎とする諸文明を築き上げたことを学習する。	先史から歴史までの人類の進化を理解できたか。
	第1章 オリエントと 地中海世界	多様な民族が交わるオリエント文明の盛衰、オリエントの影響を受けて成立した地中海文明、ヘレニズム文明の特徴を把握し、都市国家から大帝国に発展したローマの特質を学習する。	多様な民族の個々の歴史と、それらの横のつながりを理解できたか。
	第2章 アジア・アメリカの 古代文明	インド文明を中心とする独自の宗教・社会制度など、南アジア世界の形成過程と、中国文明を秦・漢帝国の動向までを学習する。	インド古代王朝の変遷について理解できたか。
	第3章 内陸アジア世界・ 東アジア世界の形成	東アジアにおける北方の遊牧民族の動向を中心に、中国の分裂と動乱の時代、その後の隋・唐帝国の国家制度や文化を学習する。	のちの東アジア世界に大きな影響を与えた中国王朝の諸制度を理解できたか。
	第4章 イスラーム世界の 形成と発展	イスラーム世界成立の背景とその特質、アラブ帝国からイスラーム帝国への変遷を学習する。また、トルコ系民族を中心とする各民族によりイスラーム世界の拡大過程を学習する。	イスラーム世界の拡大を、他地域との結び付きを意識して理解できたか。
	第5章 ヨーロッパ世界の 形成と発展	ゲルマン人により再構築されたヨーロッパ世界について、およびその過程で成立した封建社会の特徴を理解し、安定期に入る中で発生した異文化世界との交流・衝突とその影響について考える。	中世ヨーロッパ世界の特徴について理解できたか。
	第6章 内陸アジア世界・ 東アジア世界の展開	中国王朝の変遷を柱にし、中国の周辺遊牧諸勢力の台頭や日本を含めた東アジア諸地域の勢力交替を理解する。モンゴル民族の活動が周辺諸地域世界に与えた影響の大きさを考える。	モンゴルの世紀と、その後の各地域の自立について理解できたか。

3年	第7章 アジア諸地域の繁栄	中華帝国を再現した明朝と、その後のアジア世界を主導した清朝について学習する。また、オスマン帝国・ムガル帝国を中心とする近世イスラーム世界を学習する。	東アジア・西アジアにおける近世の動きを、前時代からの繋がりと他地域との結び付きを意識して理解できたか。
	第8章 近世ヨーロッパ世界の形成	大航海時代・ルネサンス・宗教改革によるヨーロッパ世界の変革と、その過程で形成される主権国家体制について学習する。	主権国家により形成された近世ヨーロッパ世界について理解できたか。
	第9章 近世ヨーロッパ世界の展開	17～18世紀におけるヨーロッパ主権国家諸国の動向を、重商主義と啓蒙専制主義を柱として学習する。重商主義により開始されたヨーロッパ諸国の植民地争奪について考える。	ヨーロッパ諸国の世界進出の先駆となった動きを、中世および近代との繋がりを含めて理解できたか。
	第10章 近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立	イギリス産業革命、アメリカ独立革命、フランス革命が近代民主政治の形成に与えた影響を学習する。	近代の成立に大きな影響を与えた3つの革命を理解できたか。
	第11章 欧米における近代国民国家の発展	ウィーン体制の成立と、その体制下に広がったヨーロッパ諸国の自由主義とナショナリズムの運動を学習し、その過程で成立した各国の近代化について考察する。	ナポレオンによって広まった自由主義の気運が各地で発展していくことを理解できたか。
	第12章 アジア諸地域の動揺	オスマン帝国・ムガル帝国・清朝の、ヨーロッパ諸国の干渉による支配体制の動揺について学習する。	オスマン帝国・ムガル帝国・清王朝の衰退と、ヨーロッパ世界の進出について理解できたか。
	第13章 帝国主義とアジアの民族運動	帝国主義時代における欧米列強諸国の国家・社会の変化を学習する。欧米列強による世界各地の分割や植民地化をめぐる競合と、欧米諸国の支配を受けたアジア諸国の改革と民族運動の形成を学習する。	欧米列強による世界進出と、それに対抗する現地の動きを理解できたか。
	第14章 二つの世界大戦	二度にわたる世界大戦と、ヴェルサイユ体制の成立と崩壊、民族運動の展開を学習する。ロシア革命により成立した社会主義国家の動きを学習する。	世界大戦がのちの時代形成に与えた影響と、社会主義国家の成立について理解できたか。
	第15章 冷戦と第三世界の独立	第二次世界大戦後に米・ソを中心とした冷戦体制が成立したこと、冷戦下において中華人民共和国の成立や朝鮮戦争などによる米ソ冷戦の激化が「雪どけ」の始まりによる多極化に向かったことを学習する。	冷戦下の世界情勢を、米ソ対立を軸として理解できたか。
	第16章 現在の世界	東欧社会主義圏の消滅、ソ連邦の解体と民族紛争、グローバル経済の進展を考察する。世界で多発する地域紛争と同時多発テロ後の戦争、紛争解決や軍縮の試みについて考える。	今日の世界が抱える問題の出発点について理解できたか。

平成29年度 地歴・公民科：世界史B

コース・単位数	2年：文系Iコース（3単位） 3年：文系Iコース（3単位）			
学習の到達目標	世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解させ、文化の多様性・複合性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。			
教科書	詳説世界史（山川出版社）	副教材	プロムナード世界史（浜島書店） 世界史研究ノート標準編（啓隆社）	
評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
	積極的に授業内容を理解し、参加することができたか。	グループワークを通じ、役割を果たすことができたか。	板書等をノートに整理できたか。レポートを作成できたか。	定期テスト・小テストへ向け予習・復習ができたか。
評価方法	授業での発言、ノート、レポートの提出	グループワークの発表	ノート、レポートの提出	定期テスト・小テストの実施

学年	学習単元	学習方法	評価のポイント
2年	序章 先史の世界	人類が自然環境に適応しながら進化し、農耕・牧畜を基礎とする諸文明を築き上げたことを学習する。	先史から歴史までの人類の進化を理解できたか。
	第1章 オリエントと 地中海世界	多様な民族が交わるオリエント文明の盛衰、オリエントの影響を受けて成立した地中海文明の特徴を学習する。また、都市国家から大帝国に発展したローマ文明の特徴を考察する。	多様な民族の個々の歴史と、それらの横のつながりを理解できたか。
	第2章 アジア・アメリカの 古代文明	古代インド世界にみられる独自の宗教・社会制度、ならびに中国文明を起源から秦・漢帝国の動向までを学習する。	インド古代王朝の変遷について理解できたか。
	第3章 内陸アジア世界・ 東アジア世界の形成	東アジアにおける北方周辺遊牧民族の動向を中心に、中国の分裂と動乱の時代、その後の隋唐帝国の国家制度や文化を学習する。	のちの東アジア世界に大きな影響を与えた中国王朝の諸制度を理解できたか。
	第4章 イスラーム世界の 形成と発展	イスラーム世界成立の背景とその特質、アラブ帝国からイスラーム帝国への変遷と相違点を学習し、その後のイスラーム世界が拡大していく過程を学習する。	イスラーム世界の拡大を、他地域との結び付きを意識して理解できたか。
	第5章 ヨーロッパ世界の 形成と発展	ゲルマン人により再構築されたヨーロッパ世界について学習する。その過程で成立した封建社会の特徴を理解し、安定期に入る中で発生した異文化世界との交流・衝突とその影響について考える。	中世ヨーロッパ世界の特徴について理解できたか。
	第6章 内陸アジア世界・ 東アジア世界の展開	中国王朝の変遷を、中国の周辺遊牧諸勢力の台頭や日本を含めた東アジア諸地域との結び付きをふまえて学習する。モンゴル帝国の興亡と、その活動が日本を含む諸地域世界に与えた影響の大きさを考察する。	モンゴルの世紀と、その後の各地域の自立について理解できたか。
第7章 アジア諸地域の繁栄	中華帝国を再現した明朝と、その後のアジア世界を主導した清朝について学習する。	東アジア・西アジアにおける近世の動きを、前時代からの繋がりと他地域との結び付きを意識して理解できたか。	

3年	第8章 近世ヨーロッパ世界の形成	大航海時代・ルネサンス・宗教改革によるヨーロッパ世界の変革と、その過程で形成される主権国家体制について学習する。	主権国家により形成された近世ヨーロッパ世界について理解できたか。
	第9章 近世ヨーロッパ世界の展開	17～18世紀におけるヨーロッパ主権国家諸国の動向を、重商主義と啓蒙専制主義を柱として学習する。	ヨーロッパ諸国の世界進出の先駆となった動きを理解できたか。
	第10章 近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立	イギリス産業革命、アメリカ独立革命、フランス革命が近代民主政治の形成に与えた影響を学習する。	近代の成立に大きな影響を与えた3つの革命を理解できたか。
	第11章 欧米における近代国民国家の発展	ウィーン体制の成立と、その体制下に広がったヨーロッパ諸国の自由主義とナショナリズムの運動を学習する。	ナポレオンによって広まった自由主義の気運が各地で発展していくことを理解できたか。
	第12章 アジア諸地域の動揺	ヨーロッパ諸国の干渉による清朝支配の動揺と近代化改革を中心に学習する。	ヨーロッパ世界のアジア進出について理解できたか。
	第13章 帝国主義とアジアの民族運動	帝国主義時代における欧米列強諸国の国家・社会の変化を学習する。欧米諸国の支配を受けたアジア諸国の改革と民族運動を学習する。	欧米列強による世界進出と、それに対抗する現地の動きを理解できたか。
	第14章 二つの世界大戦	二度にわたる世界大戦と、ヴェルサイユ体制の成立と崩壊、民族運動の展開を学習する。	世界大戦がのちの時代形成に与えた影響を理解できたか。
	第15章 冷戦と第三世界の独立	第二次世界大戦後、米・ソを中心とした冷戦体制が成立したことを学習する。冷戦下における代理戦争の影響と、「雪どけ」以後の冷戦終結までの過程を考察する。	冷戦下の世界情勢を、米ソ対立を軸として理解できたか。
第16章 現在の世界	東欧社会主義圏の消滅、ソ連邦の解体と民族紛争、グローバル経済の進展を学習し、世界で多発する地域紛争と同時多発テロ後の戦争、紛争解決や軍縮の試みを学習する。	今日の世界が抱える問題の出発点について理解できたか。	

平成29年度 地歴・公民科：世界史B

コース・単位数	2年：文系Ⅱコース（3単位） 3年：文系Ⅱコース（3単位）			
学習の到達目標	世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解させ、文化の多様性・複合性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。			
教科書	高校世界史（山川出版社）	副教材	プロムナード世界史（浜島書店） 世界史研究ノート標準編（啓隆社）	
評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
	積極的に授業内容を理解し、参加することができたか。	グループワークを通じ、役割を果たすことができたか。	板書等をノートに整理できたか。レポートを作成できたか。	定期テスト・小テストへ向け予習・復習ができたか。
評価方法	授業での発言、ノート、レポートの提出	グループワークの発表	ノート、レポートの提出	定期テスト・小テストの実施

学年	学習単元	学習方法	評価のポイント
2年	序章 先史の世界	人類が自然環境に適応しながら進化し、農耕・牧畜を基礎とする諸文明を築き上げたことを学習する。	先史から歴史までの人類の進化を理解できたか。
	第1章 オリエントと 地中海世界	多様な民族が交わるオリエント文明の盛衰、オリエントの影響を受けて成立した地中海文明の特徴を学習する。また、都市国家から大帝国内に発展したローマ文明の特徴を考察する。	多様な民族の個々の歴史と、それらの横のつながりを理解できたか。
	第2章 アジア・アメリカの 古代文明	古代インド世界にみられる独自の宗教・社会制度、ならびに中国文明を起源から秦・漢帝国の動向までを学習する。	インド古代王朝の変遷について理解できたか。
	第3章 内陸アジア世界・ 東アジア世界の形成	東アジアにおける北方周辺遊牧民族の動向を中心に、中国の分裂と動乱の時代、その後の隋唐帝国の国家制度や文化を学習する。	のちの東アジア世界に大きな影響を与えた中国王朝の諸制度を理解できたか。
	第4章 イスラーム世界の 形成と発展	イスラーム世界成立の背景とその特質、アラブ帝国からイスラーム帝国への変遷と相違点を学習し、その後のイスラーム世界が拡大していく過程を学習する。	イスラーム世界の拡大を、他地域との結び付きを意識して理解できたか。
	第5章 ヨーロッパ世界の 形成と発展	ゲルマン人により再構築されたヨーロッパ世界について学習する。その過程で成立した封建社会の特徴を理解し、安定期に入る中で発生した異文化世界との交流・衝突とその影響について考える。	中世ヨーロッパ世界の特徴について理解できたか。
	第6章 内陸アジア世界・ 東アジア世界の展開	中国王朝の変遷を、中国の周辺遊牧諸勢力の台頭や日本を含めた東アジア諸地域との結び付きをふまえて学習する。モンゴル帝国の興亡と、その活動が日本を含む諸地域世界に与えた影響の大きさを考察する。	モンゴルの世紀と、その後の各地域の自立について理解できたか。
第7章 アジア諸地域の繁栄	中華帝国を再現した明朝と、その後のアジア世界を主導した清朝について学習する。	東アジア・西アジアにおける近世の動きを、前時代からの繋がりと他地域との結び付きを意識して理解できたか。	

3年	第8章 近世ヨーロッパ世界の形成	大航海時代・ルネサンス・宗教改革によるヨーロッパ世界の変革と、その過程で形成される主権国家体制について学習する。	主権国家により形成された近世ヨーロッパ世界について理解できたか。
	第9章 近世ヨーロッパ世界の展開	17～18世紀におけるヨーロッパ主権国家諸国の動向を、重商主義と啓蒙専制主義を柱として学習する。	ヨーロッパ諸国の世界進出の先駆となった動きを理解できたか。
	第10章 近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立	イギリス産業革命、アメリカ独立革命、フランス革命が近代民主政治の形成に与えた影響を学習する。	近代の成立に大きな影響を与えた3つの革命を理解できたか。
	第11章 欧米における近代国民国家の発展	ウィーン体制の成立と、その体制下に広がったヨーロッパ諸国の自由主義とナショナリズムの運動を学習する。	ナポレオンによって広まった自由主義の気運が各地で発展していくことを理解できたか。
	第12章 アジア諸地域の動揺	ヨーロッパ諸国の干渉による清朝支配の動揺と近代化改革を中心に学習する。	ヨーロッパ世界のアジア進出について理解できたか。
	第13章 帝国主義とアジアの民族運動	帝国主義時代における欧米列強諸国の国家・社会の変化を学習する。欧米諸国の支配を受けたアジア諸国の改革と民族運動を考察する。	欧米列強による世界進出と、それに対抗する現地の動きを理解できたか。
	第14章 二つの世界大戦	二度にわたる世界大戦と、ヴェルサイユ体制の成立と崩壊、民族運動の展開を学習する。	世界大戦がのちの時代形成に与えた影響を理解できたか。
	第15章 冷戦と第三世界の独立	第二次世界大戦後、米・ソを中心とした冷戦体制が成立したことを学習する。冷戦下における代理戦争の影響と、「雪どけ」以後の冷戦終結までの過程を学習する。	冷戦下の世界情勢を、米ソ対立を軸として理解できたか。
第16章 現在の世界	東欧社会主義圏の消滅、ソ連邦の解体と民族紛争、グローバル経済の進展を学習し、世界で多発する地域紛争と同時多発テロ後の戦争、紛争解決や軍縮の試みを考察する。	今日の世界が抱える問題の出発点について理解できたか。	

平成29年度 地歴・公民科：世界史B

コース・単位数	3年 (H27入学生)：特進文系コース (4単位)・アスリート特進コース (4単位)			
学習の到達目標	世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解させ、文化の多様性・複合性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。			
教科書	詳説世界史 (山川出版社)	副教材	プロムナード世界史 (浜島書店) 世界史用語集新課程 (山川出版社) 新世界史研究ノート標準編 (啓隆社) 山川一問一答世界史 (山川出版社)	
評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
	積極的に授業内容を理解し、参加することができたか。	グループワークを通じ、役割を果たすことができたか。	板書等をノートに整理できたか。レポートを作成できたか。	定期テスト・小テストへ向け予習・復習ができたか。
評価方法	授業での発言、ノート、レポートの提出	グループワークの発表	ノート、レポートの提出	定期テスト・小テストの実施

学年	学習単元	学習方法	評価のポイント
3年	第9章 近世ヨーロッパ世界の展開	17～18世紀におけるヨーロッパ主権国家諸国の動向を、重商主義と啓蒙専制主義を柱として学習する。重商主義により開始されたヨーロッパ諸国の植民地争奪について考える。	ヨーロッパ諸国の世界進出の先駆となった動きを、中世および近代との繋がりを含めて理解できたか。
	第10章 近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立	イギリス産業革命、アメリカ独立革命、フランス革命が近代民主政治の形成に与えた影響を学習する。	近代の成立に大きな影響を与えた3つの革命を理解できたか。
	第11章 欧米における近代国民国家の発展	ウィーン体制の成立と、その体制下に広がったヨーロッパ諸国の自由主義とナショナリズムの運動を学び、その過程で成立した各国の近代化について学習する。	ナポレオンによって広まった自由主義の気運が各地で発展していくことを理解できたか。
	第12章 アジア諸地域の動揺	オスマン帝国・ムガル帝国・清朝の、ヨーロッパ諸国の干渉による支配体制の動揺について学習する。	オスマン帝国・ムガル帝国・清王朝の衰退と、ヨーロッパ世界の進出について理解できたか。
	第13章 帝国主義とアジアの民族運動	帝国主義時代における欧米列強諸国の国家・社会の変化を学習する。欧米列強による世界各地の分割や植民地化をめぐる競合と、欧米諸国の支配を受けたアジア諸国の改革と民族運動の形成を考察する。	欧米列強による世界進出と、それに対抗する現地の動きを理解できたか。
	第14章 二つの世界大戦	二度にわたる世界大戦と、ヴェルサイユ体制の成立と崩壊、民族運動の展開を学習する。ロシア革命により成立した社会主義国家の動きを学習する。	世界大戦がのちの時代形成に与えた影響と、社会主義国家の成立について理解できたか。
第15章 冷戦と第三世界の独立	第二次世界大戦後に米・ソを中心とした冷戦体制が成立したこと、冷戦下において中華人民共和国の成立や朝鮮戦争などによる米ソ冷戦の激化が「雪どけ」の始まりによる多極化に向かったことを学習する。	冷戦下の世界情勢を、米ソ対立を軸として理解できたか。	

	第16章 現在の世界	東欧社会主義圏の消滅、ソ連邦の解体と民族紛争、グローバル経済の進展を学習する。世界で多発する地域紛争と同時多発テロ後の戦争、紛争解決や軍縮の試みについて考える。	今日の世界が抱える問題の出発点について理解できたか。
--	---------------	--	----------------------------

平成29年度 地歴・公民科：世界史B

コース・単位数	3年 (H27入学生)：文系Iコース (3単位)			
学習の到達目標	世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解させ、文化の多様性・複合性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。			
教科書	詳説世界史 (山川出版社)	副教材	プロムナード世界史 (浜島書店) 新世界史研究ノート標準編 (啓隆社)	
評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
	積極的に授業内容を理解し、参加することができたか。	グループワークを通じ、役割を果たすことができたか。	板書等をノートに整理できたか。レポートを作成できたか。	定期テスト・小テストへ向け予習・復習ができたか。
評価方法	授業での発言、ノート、レポートの提出	グループワークの発表	ノート、レポートの提出	定期テスト・小テストの実施

学年	学習単元	学習方法	評価のポイント
3年	第11章 欧米における近代 国民国家の発展	ウィーン体制の成立と、その体制下に広がったヨーロッパ諸国の自由主義とナショナリズムの運動を学習する。	ナポレオンによって広まった自由主義の気運が各地で発展していくことを理解できたか。
	第12章 アジア諸地域の動揺	ヨーロッパ諸国の干渉による清朝支配の動揺と近代化改革を中心に学習する。	ヨーロッパ世界のアジア進出について理解できたか。
	第13章 帝国主義とアジアの 民族運動	帝国主義時代における欧米列強諸国の国家・社会の変化を学習する。欧米諸国の支配を受けたアジア諸国の改革と民族運動を学習する。	欧米列強による世界進出と、それに対抗する現地の動きを理解できたか。
	第14章 二つの世界大戦	二度にわたる世界大戦と、ヴェルサイユ体制の成立と崩壊、民族運動の展開を学習する。	世界大戦がのちの時代形成に与えた影響を理解できたか。
	第15章 冷戦と第三世界の 独立	第二次世界大戦後、米・ソを中心とした冷戦体制が成立したことを学習する。冷戦下における代理戦争の影響と、「雪どけ」以後の冷戦終結までの過程を学習する。	冷戦下の世界情勢を、米ソ対立を軸として理解できたか。
	第16章 現在の世界	東欧社会主義圏の消滅、ソ連邦の解体と民族紛争、グローバル経済の進展を学習し、世界で多発する地域紛争と同時多発テロ後の戦争、紛争解決や軍縮の試みを考察する。	今日の世界が抱える問題の出発点について理解できたか。

平成29年度 地歴・公民科：世界史B

コース・単位数	3年 (H27入学生)：文系Ⅱコース (3単位)			
学習の到達目標	世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解させ、文化の多様性・複合性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。			
教科書	高校世界史 (山川出版社)	副教材	プロムナード世界史 (浜島書店) 世界史研究ノート標準編 (啓隆社)	
評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
	積極的に授業内容を理解し、参加することができたか。	グループワークを通じ、役割を果たすことができたか。	板書等をノートに整理できたか。レポートを作成できたか。	定期テスト・小テストへ向け予習・復習ができたか。
評価方法	授業での発言、ノート、レポートの提出	グループワークの発表	ノート、レポートの提出	定期テスト・小テストの実施

学年	学習単元	学習方法	評価のポイント
3年	第9章 近世ヨーロッパ世界の展開	17～18世紀におけるヨーロッパ主権国家諸国の動向を、重商主義と啓蒙専制主義を柱として学習する。	ヨーロッパ諸国の世界進出の先駆となった動きを理解できたか。
	第10章 近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立	イギリス産業革命、アメリカ独立革命、フランス革命が近代民主政治の形成に与えた影響を学習する。	近代の成立に大きな影響を与えた3つの革命を理解できたか。
	第11章 欧米における近代国民国家の発展	ウィーン体制の成立と、その体制下に広がったヨーロッパ諸国の自由主義とナショナリズムの運動を学習する。	ナポレオンによって広まった自由主義の気運が各地で発展していくことを理解できたか。
	第12章 アジア諸地域の動揺	ヨーロッパ諸国の干渉による清朝支配の動揺と近代化改革を中心に学習する。	ヨーロッパ世界のアジア進出について理解できたか。
	第13章 帝国主義とアジアの民族運動	帝国主義時代における欧米列強諸国の国家・社会の変化を学習する。欧米諸国の支配を受けたアジア諸国の改革と民族運動を学習する。	欧米列強による世界進出と、それに対抗する現地の動きを理解できたか。
	第14章 二つの世界大戦	二度にわたる世界大戦と、ヴェルサイユ体制の成立と崩壊、民族運動の展開を学習する。	世界大戦がのちの時代形成に与えた影響を理解できたか。
	第15章 冷戦と第三世界の独立	第二次世界大戦後、米・ソを中心とした冷戦体制が成立したことを学習する。冷戦下における代理戦争の影響と、「雪どけ」以後の冷戦終結までの過程を学習する。	冷戦下の世界情勢を、米ソ対立を軸として理解できたか。
第16章 現在の世界	東欧社会主義圏の消滅、ソ連邦の解体と民族紛争、グローバル経済の進展を学習し、世界で多発する地域紛争と同時多発テロ後の戦争、紛争解決や軍縮の試みを考察する。	今日の世界が抱える問題の出発点について理解できたか。	

平成29年度 地歴・公民科：SG 日本史A

コース・単位数	1年：特進コース・アスリート特進コース・普通コース（2単位）			
学習の到達目標	我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連づけて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。			
教科書	現代の日本史（山川出版社）	副教材	現代の日本史ノート（山川出版社） プロムナード日本史（浜島書店）	
評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
	積極的に授業内容を理解し、参加することができたか。	グループワークを通じ、役割を果たすことができたか。	板書等をノートに整理できたか。レポートを作成できたか。	定期テスト・小テストに向け、予習・復習ができたか。
評価方法	授業での発言、ノート・レポートの提出	グループワークの発表	ノート・レポートの提出	定期テスト・小テストの実施

学年	学習単元	学習方法	評価のポイント
1年	<p>私たちの時代と歴史</p> <p>第1章 開国と維新</p> <p>第2章 近代国家の形成と発展</p> <p>第3章 産業化の推進と国民生活の変化</p>	<p>「近代」の始まりと社会の変化を、今日の日本との比較をすることで感じ取る。</p> <p>江戸時代の外交について、初期外交の様子と「鎖国」を展開した背景について考える。</p> <p>江戸時代の概観を理解し、近世・近代の違いを学び取る。</p> <p>鎖国状態の日本に接近した列強の動きを学習する。</p> <p>グローバル化に巻き込まれることとなる幕末期の外交の実態と、開国後の日本国内の様子を学ぶ。</p> <p>すべての体制を変えた「明治維新」の具体的な諸政策を通じ、明治新政府のめざす先について考える。</p> <p>憲法制定・議会制度確立をめぐる、民権派と政府の動きをとらえる。</p> <p>君主制の強い憲法を制定した理由について考える。</p> <p>初期議会での審議内容について考える。</p> <p>征韓論について調べ、明治初期段階から朝鮮半島・大陸に目を向け始めていた背景を考える。</p> <p>日清・日露戦争を通じて、列強と日本の関わりについて考える。</p> <p>日本における近代産業の発展の様子と、国民生活の変化について考える。</p>	<p>身近な社会がどのような変化を経て形成されたのかについて、関心が持てたか。</p> <p>鎖国を行うことでのメリットやデメリットについて気付くことができたか。</p> <p>明治維新における諸政策が、列強のシステムを参考にされていたことに気付くことができたか。</p> <p>民権派に対する政府の動きについて順を追ってとらえることができたか。</p> <p>憲法制定に際し、参考とした国と、その理由について考えることができたか。</p> <p>民党の要求に対して、政府側が超然主義という姿勢をとったことに気付くことができたか。</p> <p>担当者別に条約改正交渉の過程を理解できたか。</p> <p>また、交渉が成功した際の背景について気付くことができたか。</p> <p>中国をめぐる列強の進出状況と、日本の東アジアにおける立場・地位について考えることができたか。</p> <p>紡績業で機械化が進展し、日本の近代産業が飛躍的に発展したことに気付くことができたか。</p>

<p>第4章 第一次世界大戦と大正デモクラシー</p>	<p>第一次世界大戦期における日本の役割と、大陸進出の様子について考える。 市民生活・市民文化の発展と、デモクラシーの高まりについて考える。 ワシントン体制下での日本の動きについて考える。 ワシントン体制・ヴェルサイユ体制下での世界の動きをとらえ、協調外交を推進する政府と軍部の考えを学ぶ。</p>	<p>工場労働者の急増に伴い、労働問題が浮上してきたことについて理解できたか。</p> <p>第一次世界大戦後の世界と同様に、自由主義民主主義的風潮が進展したことに気付くことができたか。 ワシントン体制が対日本の体制であることに気付くことができたか。 都市の発展とともに、市民生活が大きく変容したことを理解できたか。</p>
<p>第5章 第二次世界大戦</p>	<p>1920年代の日本における「恐慌」と、その影響について考える。 世界恐慌に対する各国の対策・とった行動を調べる。 満州事変の内容と、日本国内・中国・世界に与えた影響について考える。 ドイツ・イタリアの状況と、日本の状況を比較する。 日中戦争に向かう中国国内の様子と、日本の動きについて考える。 日本の南方進出目的と、日米開戦までの過程を学ぶ。</p>	<p>戦後恐慌・震災恐慌・金融恐慌それぞれ後こった原因と、影響について整理できたか。 中国東北部での関東軍の動きが急進的であった理由について考えることができたか。 また、協調外交を推進した政府と軍部の関係について考えることができたか。 五・一五事件、二・二六事件の持つ意義について考えることができたか。 日中戦争・太平洋戦争が激化する中での国民生活について考えることができたか。</p> <p>大戦中より行われていた戦争処理会談の内容について理解できたか。</p>
<p>第6章 占領下の日本</p>	<p>GHQによる日本の民主化政策の内容と、日本経済の復興について考える。 東西冷戦の影響下での日本の動きについて考える。</p>	<p>ファシズム打破のために五大改革指令が発令されたことに気付くことができたか。 東西冷戦の影響を受け、日本は国際社会復帰したことを理解できたか。</p>
<p>第7章 日本の自立と経済成長</p>	<p>55年体制の成立背景について当時の日本の進むべきとされた方向について考える。 現在の報道内容や現在の情勢を理解し、当時の安保体制成立の背景について考える。 高度経済成長が各方面に与えた影響について考える。</p>	<p>アメリカ依存の是非から 55年体制が成立したことを理解できたか。</p> <p>高度経済成長についてのグラフを活用して時代背景や国内外への影響について読み取ることができたか。</p>
<p>第8章 現代の世界と日本</p>	<p>東西両陣営の動揺と、日本をはじめとする経済成長国の「自立」について考える。 グローバル化が進む中で、近隣のアジア太平洋地域における日本の果たす役割について考える。</p>	<p>経済大国となった日本と、諸国との間に様々な摩擦が発生したことに気付くことができたか。 近隣諸国と日本、世界と日本の関係や、今後の日本の歩むべき道について考えることができたか。</p>

平成29年度 地歴・公民科：日本史A

コース・単位数	2年：特進理系コース・特進文系コース・アスリート特進コース・理系コース（2単位） 3年：特進理系コース（2単位）			
学習の到達目標	我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連づけて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。			
教科書	現代の日本史（山川出版社）	副教材	現代の日本史ノート（山川出版社） プロムナード日本史（浜島書店）	
評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
	積極的に授業内容を理解し、参加することができたか。	グループワークを通じ、役割を果たすことができたか。	板書等をノートに整理できたか。レポートを作成できたか。	定期テスト・小テストに向け、予習・復習ができたか。
評価方法	授業での発言、ノート・レポートの提出	グループワークの発表	ノート・レポートの提出	定期テスト・小テストの実施

学年	学習単元	学習方法	評価のポイント
2年	<p>私たちの時代と歴史</p> <p>第1章 開国と維新</p> <p>第2章 近代国家の形成と発展</p> <p>第3章 産業化の推進と国民生活の変化</p>	<p>「近代」の始まりと社会の変化を、今日の日本との比較をすることで感じ取る。</p> <p>江戸時代の外交について、初期外交の様子と「鎖国」を展開した背景について考える。</p> <p>江戸時代の概観を理解し、近世・近代の違いを学び取る。</p> <p>グローバル化に巻き込まれることとなる幕末期の外交の実態と、開国後の日本国内の様子を学ぶ。</p> <p>すべての体制を変えた「明治維新」の具体的な諸政策を通じ、明治新政府のめざす先について考える。</p> <p>憲法制定・議会制度確立をめぐる、民権派と政府の動きをとらえる。</p> <p>君主制の強い憲法を制定した理由について考える。</p> <p>初期議会での審議内容について考える。</p> <p>征韓論について調べ、明治初期段階から朝鮮半島・大陸に目を向け始めていた背景を考える。</p> <p>日清・日露戦争を通じて、列強と日本の関わりについて考える。</p> <p>日本における近代産業の発展の様子と、国民生活の変化について考える。</p>	<p>身近な社会がどのような変化を経て形成されたのかについて、関心が持てたか。</p> <p>鎖国を行うことでのメリットやデメリットについて気付くことができたか。</p> <p>明治維新における諸政策が、列強のシステムを参考にされていたことに気付くことができたか。</p> <p>民権派に対する政府の動きについて順を追ってとらえることができたか。</p> <p>憲法制定に際し、参考とした国と、その理由について考えることができたか。</p> <p>民権の要求に対して、政府側が超然主義という姿勢をとったことに気付くことができたか。</p> <p>担当者別に条約改正交渉の過程を理解できたか。</p> <p>また、交渉が成功した際の背景について気付くことができたか。</p> <p>中国をめぐる列強の進出状況と、日本の東アジアにおける立場・地位について考えることができたか。</p> <p>紡績業で機械化が進展し、日本の近代産業が飛躍的に発展したことに気付くことができたか。</p>

<p>第4章 第一次世界大戦と大正デモクラシー</p>	<p>第一次世界大戦期における日本の役割と、大陸進出の様子について考える。 市民生活・市民文化の発展と、デモクラシーの高まりについて考える。 ワシントン体制下での日本の動きについて考える。</p>	<p>工場労働者の急増に伴い、労働問題が浮上してきたことについて理解できたか。</p> <p>第一次世界大戦後の世界と同様に、自由主義民主主義的風潮が進展したことに気付くことができたか。 ワシントン体制が対日本の体制であることに気付くことができたか。 都市の発展とともに、市民生活が大きく変容したことを理解できたか。</p>
<p>第5章 第二次世界大戦</p>	<p>1920年代の日本における「恐慌」と、その影響について考える。 世界恐慌に対する各国の対策・とった行動を調べる。 満州事変の内容と、日本国内・中国・世界に与えた影響について考える。 日中戦争に向かう中国国内の様子と、日本の動きについて考える。 日本の南方進出目的と、日米開戦までの過程を学ぶ。</p>	<p>戦後恐慌・震災恐慌・金融恐慌それぞれ後こった原因と、影響について整理できたか。 中国東北部での関東軍の動きが急進的であった理由について考えることができたか。 また、協調外交を推進した政府と軍部の関係について考えることができたか。 五・一五事件、二・二六事件の持つ意義について考えることができたか。 日中戦争・太平洋戦争が激化する中での国民生活について考えることができたか。</p> <p>大戦中より行われていた戦争処理会談の内容について理解できたか。</p>
<p>第6章 占領下の日本</p>	<p>GHQによる日本の民主化政策の内容と、日本経済の復興について考える。 東西冷戦の影響下での日本の動きについて考える。</p>	<p>ファシズム打破のために五大改革指令が発令されたことに気付くことができたか。 東西冷戦の影響を受け、日本は国際社会復帰したことを理解できたか。</p>
<p>第7章 日本の自立と経済成長</p>	<p>55年体制の成立背景について当時の日本の進むべきとされた方向について考える。 現在の報道内容や現在の情勢を理解し、当時の安保体制成立の背景について考える。 高度経済成長が各方面に与えた影響について考える。</p>	<p>アメリカ依存の是非から 55年体制が成立したことを理解できたか。</p> <p>高度経済成長についてのグラフを活用して時代背景や国内外への影響について読み取ることができたか。</p>
<p>第8章 現代の世界と日本</p>	<p>東西両陣営の動揺と、日本をはじめとする経済成長国の「自立」について考える。 グローバル化が進む中で、近隣のアジア太平洋地域における日本の果たす役割について考える。</p>	<p>経済大国となった日本と、諸国との間に様々な摩擦が発生したことに気付くことができたか。 近隣諸国と日本、世界と日本の関係や、今後の日本の歩むべき道について考えることができたか。</p>

平成29年度 地歴・公民科：日本史B

コース・単位数	2年：特進文系コース・アスリート特進コース（4単位） 3年：特進文系コース・アスリート特進コース（4単位）			
学習の到達目標	我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。			
教科書	詳説 日本史B 改訂版（山川出版社）	副教材	詳説 日本史図録（山川出版社） 日本史用語集（山川出版社） 山川一問一答日本史（山川出版社） 精選日本史史料集（第一学習社）	
評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
	積極的に授業内容を理解し、参加することができたか。	グループワークを通じ、役割を果たすことができたか。	板書等をノートに整理できたか。レポートを作成できたか。	定期テスト・小テストへ向け予習・復習ができたか。
評価方法	授業での発言、ノート、レポートの提出	グループワークの発表	ノート、レポートの提出	定期テスト・小テストの実施

学年	学習単元	学習方法	評価のポイント
2年	第I部 第1章 原始・古代 日本文化のあけぼの	旧石器文化・縄文文化の社会について、また、ヤマト政権について、教科書・副教材・視覚的資料を使い学習する。	文化の違いを理解できたか。
	第2章 律令国家の形成	大宝律令・養老律令による律令体制が整備について、教科書・副教材・視覚的資料を使い内容を学習する。	律令体制について理解できたか。
	第3章 貴族政治と国風文化	摂関政治の藤原氏の栄華を教科書・副教材・視覚的資料を使い内容を学習する。また、武士の台頭の原因を考える。	藤原氏の繁栄について理解できたか。
	第II部 第4章 中世 中世社会の成立	院政・平氏政権・源氏政権・執権政治の違いについて、教科書・副教材・視覚的資料を使い学習する。	院政から源氏政権までの流れ、違いについて理解できたか。
	第5章 武家社会の成長	南北朝の動乱から室町幕府の機構の確立について教科書・副教材・視覚的資料を使い学習する。	南北朝時代、室町幕府の機構、戦国時代への流れを理解できたか。
	第III部 第6章 近世 幕藩体制の成立	織豊政権の統一過程、幕藩体制下の支配体制、封建的身分秩序の形成を中心に教科書・副教材・視覚的資料を使い学習する。	織田・豊臣・徳川政権の違いについて理解し、幕藩体制の構造を理解できたか。
	第7章 幕藩体制の展開	武断政治から文治政治への転換を学習し、元禄時代・正徳の政治の特徴を教科書・副教材・視覚的資料を使い考察する。	武断政治から文治政治への流れを理解できたか。
3年	第8章 幕藩体制の動揺	享保の改革・寛政の改革・天保の改革について教科書・副教材・視覚的資料を使い学習する。	三大改革を理解することができたか。
	第IV部 第9章 近代・現代 近代国家の成立	開国による近代国家の成立について、教科書・	開国による影響、明治維新について理解することができたか。

	<p>第10章 近代日本とアジア</p> <p>第11章 占領下の日本</p> <p>第12章 高度成長の時代</p> <p>第13章 激動する世界と日本</p>	<p>副教材・視覚的資料を使い学習する。 第一次世界大戦から第二次世界大戦までの世界と日本の関わりを教科書・副教材・視覚的資料を使い学習する。</p> <p>日本国憲法の制定、アメリカとの関係を中心に教科書・副教材・視覚的資料を使い学習する。</p> <p>自由民主党55年体制による外交・政治・経済を中心に教科書・副教材・視覚的資料を使い学習する。</p> <p>石油危機による世界経済の混乱、55年体制の崩壊、バブル経済から平成不況へと進んだ経済状況を教科書・副教材・視覚的資料を使い学習する。</p>	<p>第一次世界大戦から第二次世界大戦までの日本の政治・経済について理解できたか。</p> <p>大日本帝国憲法と日本国憲法の違い、日本とアメリカの関係について理解できたか。</p> <p>55年体制、高度経済成長について理解できたか。</p> <p>近年の経済状況の変化について理解できたか。</p>
--	---	---	---

平成29年度 地歴・公民科：日本史B

コース・単位数	2年：文系Iコース（3単位） 3年：文系Iコース（3単位）			
学習の到達目標	我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。			
教科書	詳説 日本史B 改訂版（山川出版社）	副教材	プロムナード日本史（浜島書店） 要点整理ゼミナール日本史（浜島書店） 精選日本史史料集（第一学習社）	
評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
	積極的に授業内容を理解し、参加することができたか。	グループワークを通じ、役割を果たすことができたか。	板書等をノートに整理できたか。レポートを作成できたか。	定期テスト・小テストへ向け予習・復習ができたか。
評価方法	授業での発言、ノート、レポートの提出	グループワークの発表	ノート、レポートの提出	定期テスト・小テストの実施

学年	学習単元	学習方法	評価のポイント
2年	第I部 第1章 原始・古代 日本文化のあけぼの	旧石器文化・縄文文化の社会について、また、ヤマト政権について教科書・副教材・視覚的資料を使い学習する。	文化の違いを理解できたか。
	第2章 律令国家の形成	大宝律令・養老律令による律令体制が整備について教科書・副教材・視覚的資料を使い内容を学習する。	律令体制について理解できたか。
	第3章 貴族政治と国風文化	摂関政治の藤原氏の栄華を教科書・副教材・視覚的資料を使い内容を学習する。また、武士の台頭の原因を考える。	藤原氏の繁栄について理解できたか。
	第II部 第4章 中世 中世社会の成立	院政・平氏政権・源氏政権・執権政治の違いについて、教科書・副教材・視覚的資料を使い学習する。	院政から源氏政権までの流れ、違いについて理解できたか。
	第5章 武家社会の成長	南北朝の動乱から室町幕府の機構の確立について教科書・副教材・視覚的資料を使い学習する。	南北朝時代、室町幕府の機構、戦国時代への流れを理解できたか。
	第III部 第6章 近世 幕藩体制の成立	織豊政権の統一過程、幕藩体制下の支配体制、封建的身分秩序の形成を中心に教科書・副教材・視覚的資料を使い学習する。	織田・豊臣・徳川政権の違いについて理解し、幕藩体制の構造を理解できたか。
	第7章 幕藩体制の展開	武断政治から文治政治への転換を理解し、元禄時代・正徳の政治の特徴を教科書・副教材・視覚的資料を使い学習する。	武断政治から文治政治への流れを理解できたか。
	第8章 幕藩体制の動揺	享保の改革・寛政の改革・天保の改革について教科書・副教材・視覚的資料を使い学習する。	三大改革を理解することができたか。
3年	第IV部 第9章 近代・現代 近代国家の成立	開国による近代国家の成立について、教科書・副教材・視覚的資料を使い学習する。	開国による影響、明治維新について理解することができたか。

	<p>第10章 近代日本とアジア</p>	<p>第一次世界大戦から第二次世界大戦までの世界と日本の関わりを教科書・副教材・視覚的資料を使い学習する。</p>	<p>第一次世界大戦から第二次世界大戦までの日本の政治・経済について理解できたか。</p>
	<p>第11章 占領下の日本</p>	<p>日本国憲法の制定、アメリカとの関係を中心に教科書・副教材・視覚的資料を使い学習する。</p>	<p>大日本帝国憲法と日本国憲法の違い、日本とアメリカの関係について理解できたか。</p>
	<p>第12章 高度成長の時代</p>	<p>自由民主党55年体制による外交・政治・経済を中心に教科書・副教材・視覚的資料を使い学習する。</p>	<p>55年体制、高度経済成長について理解できたか。</p>
	<p>第13章 激動する世界と日本</p>	<p>石油危機による世界経済の混乱、55年体制の崩壊、バブル経済から平成不況へと進んだ経済状況を教科書・副教材・視覚的資料を使い学習する。</p>	<p>近年の経済状況の変化について理解できたか。</p>

平成29年度 地歴・公民科：日本史B

コース・単位数	2年：文系Ⅱコース（3単位） 3年：文系Ⅱコース（3単位）			
学習の到達目標	我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。			
教科書	高校日本史B（山川出版社）	副教材	精選日本史史料集（第一学習社） 日本史学習ノート（数研出版）	
評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
	積極的に授業内容を理解し、参加することができたか。	グループワークを通じ、役割を果たすことができたか。	板書等をノートに整理できたか。レポートを作成できたか。	定期テスト・小テストへ向け予習・復習ができたか。
評価方法	授業での発言、ノート、レポートの提出	グループワークの発表	ノート、レポートの提出	定期テスト・小テストの実施

学年	学習単元	学習方法	評価のポイント
2年	第Ⅰ部 第1章 原始・古代 古代社会の形成	旧石器文化・縄文文化の社会について、また、ヤマト政権について、教科書・副教材・視覚的資料を使い学習する。日本史学習ノートを使い予習・復習する。	縄文・弥生文化の違いを理解できたか。
	第2章 律令国家の形成	大宝律令・養老律令による律令体制が整備について、教科書・副教材・視覚的資料を使い内容を学習する。日本史学習ノートを使い予習・復習する。	律令体制について理解できたか。
	第3章 貴族政治の展開	摂関政治の藤原氏の栄華を教科書・副教材・視覚的資料を使い内容を学習する。また、武士の台頭の原因を考える。日本史学習ノートを使い予習・復習する。	藤原氏の台頭から繁栄について理解できたか。
	第Ⅱ部 第4章 中世 武家社会の形成	院政・平氏政権・源氏政権・執権政治の違いについて、教科書・副教材・視覚的資料を使い学習する。日本史学習ノートを使い予習・復習する。	院政・平氏政権・源氏政権までの流れ、違いについて理解できたか。
	第5章 武家社会の成長	南北朝の動乱から室町幕府の機構の確立について、教科書・副教材・視覚的資料を使い学習する。日本史学習ノートを使い予習・復習する。	南北朝時代、室町幕府の機構、戦国時代への流れを理解できたか。
	第Ⅲ部 第6章 近世 幕藩体制の成立	織豊政権の統一過程、幕藩体制下の支配体制、封建的身分秩序の形成を中心に教科書・副教材・視覚的資料を使い学習する。日本史学習ノートを使い予習・復習する。	織田・豊臣・徳川政権の違いについて理解し、幕藩体制の構造を理解できたか。
3年	第7章 幕藩体制の展開	武断政治から文治政治への転換を学習し、元禄時代・正徳の政治、三大改革について、教科書・副教材・視覚的資料を使い考察する。日本史学習ノートを使い予習・復習する。	武断政治から文治政治への流れを理解できたか。
	第8章 幕藩体制の動揺	享保の改革・寛政の改革・天保の改革について教科書・副教材・視覚的資料を使い学習する。日本史学習ノートを使い予習・復習する。	三大改革を理解することができたか。

	<p>第IV部 近代・現代 第9章 近代国家の成立</p> <p>第10章 二つの世界大戦とアジア</p> <p>第11章 現代の世界と日本</p>	<p>開国による近代国家の成立について、教科書・副教材・視覚的資料を使い学習する。日本史学習ノートを使い予習・復習する。</p> <p>第一次世界大戦から第二次世界大戦までの世界と日本の関わりについて、教科書・副教材・視覚的資料を使い学習する。日本史学習ノートを使い予習・復習する。</p> <p>日本国憲法の制定、自由民主党55年体制による外交・政治・経済を中心に学習し、その後バブル経済から平成不況へと進んだ経済状況について、教科書・副教材・視覚的資料を使い考察する。日本史学習ノートを使い予習・復習する。</p>	<p>開国による影響、明治維新について理解することができたか。</p> <p>第一次世界大戦から第二次世界大戦までの日本の政治・経済について理解できたか。</p> <p>大日本帝国憲法と日本国憲法の違い、日本とアメリカの関係について理解できたか。 高度経済成長からの発展、近年の経済状況の変化について理解できたか。</p>
--	--	---	---

29年度 地歴・公民科：政治・経済

コース・単位数	3年：理系コース・文Iコース（2単位）			
学習の到達目標	1. 広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深化させる。 2. 現代の政治、経済、国際関係に関する興味・関心を引き出し、客観的な理解をはかる。 3. 現代の政治・経済に関する諸課題に対する多様な見方・考え方を学び、その解決に向けて主体的に考える態度を養わせる。			
教科書	最新政治・経済（実教出版）	副教材	2017 新政治・経済資料三訂版（実教出版） 最新政治・経済演習ノート（実教出版）	
評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
	現代の政治、経済、国際関係について関心を高め、それぞれの課題を追及する態度を身につけている。	現代の課題を、広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な立場を踏まえ公正に判断している。	学習を通して追究した過程や結果を、的確に表現することができる。	現代の政治、経済、国際関係に関する基本的な事柄や理論などを理解し、その知識を身につけている。
評価方法	授業での発言、ノートレポートの提出	グループワークの発表	ノート、レポートの提出	定期テスト・小テストの実施

学年	学習単元	学習方法	評価のポイント
3年	第1編 現代の政治 第1章 現代国家と民主政治	<p>国内政治や国際政治の基本的事項や課題に対する関心を高め、民主政治の本質を探究する姿勢を身につける。人権保障、国民主権、法の支配など、民主主義の原理やその発展について学習する。</p> <p>日本国憲法の成立過程をふまえ、憲法の三大原則を学習する。日本国憲法における基本的人権の保障の内容を学習し、今日における日本国憲法の意義を学習する。</p> <p>国会、内閣、裁判所さらには地方自治など日本の統治機構に関する学習を深め、またその課題について考察する。</p>	<p>民主政治の成立過程と基本原理を理解できたか。</p> <p>民主政治の課題について考察できたか。</p> <p>世界の主な政治制度（アメリカ・イギリス・ドイツ・中国）について理解できたか。</p>
	第2章 日本国憲法と基本的人権	<p>日本の政党政治や選挙制度の特質を学習するとともに、望ましい政治や参政のあり方について考察する。</p>	<p>日本国憲法の成立過程と基本原理について理解できたか。</p> <p>自由に生きる権利について理解できたか。</p> <p>平等に生きる権利について理解できたか。</p>
	第2編 現代の経済	<p>基本的な経済の仕組みを学習するとともに、日本経済の現状やその課題、国際経済の動向などを考察する。</p>	
	第1章 経済社会の変容	<p>資本主義や社会主義という経済体制の特質を学習し、その変容を概観する。</p> <p>市場のはたらきや国民所得、景気変動など経済の基本的事項を考察する。</p>	<p>資本主義と社会主義の経済体制の差異を理解できたか。</p>
	第2章 現代経済のしくみ	<p>バブル経済とその崩壊後の不況、という現状に至る日本経済の流れを追い、経済成長や景気変動、金融・財政政策という理論的既習事項を現実の歴史の中で具体的に学習する。</p>	<p>バブル経済崩壊から「失われた20年」までの道程を理解できたか。</p>

		<p>公害や労働関係、社会保障といった日本経済が直面する課題について学習し、今後の展望について考察する。</p>	<p>日本経済が直面する課題について考察できたか。</p>
第3章	現代の日本経済と福祉の向上	<p>政治や経済に関する基本的な理解をふまえ、現代の政治や経済の諸課題を主体的に追及する態度を養う。</p>	
第4章	現代の国際経済	<p>地域社会の変貌と住民生活、産業構造の変化と中小企業、農業と食料問題、雇用と労働をめぐる問題、少子高齢社会と社会保障から、自由に取り上げた課題について追及する学習を行い、望ましい解決の在り方について考察する。</p>	<p>現在の国際経済について理解できたか。</p>
第3編	現代社会の諸課題	<p>地球環境問題、地球環境と資源・エネルギー問題、人種・民族問題、経済格差の是正と国際協力、国際社会における日本の立場と役割から、自由に取り上げた課題について追及する学習を行い、望ましい解決の在り方について考察する。</p>	<p>現代社会の諸課題について考察できたか。</p>

平成29年度 地歴・公民科：政治・経済

コース・単位数	3年：文系Ⅱコース（3単位）			
学習の到達目標	1. 広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深化させる。 2. 現代の政治、経済、国際関係に関する興味・関心を引き出し、客観的な理解をはかる。 3. 現代の政治・経済に関する諸課題に対する多様な見方・考え方を学び、その解決に向けて主体的に考える態度を養わせる。			
教科書	最新政治・経済（実教出版）	副教材	2017 新政治・経済資料三訂版（実教出版） 最新政治・経済演習ノート（実教出版）	
評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
	現代の政治、経済、国際関係について関心を高め、それぞれの課題を追及する態度を身につけている。	現代の課題を、広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な立場を踏まえ公正に判断している。	学習を通して追究した過程や結果を、的確に表現することができる。	現代の政治、経済、国際関係に関する基本的な事柄や理論などを理解し、その知識を身につけている。
評価方法	授業での発言、ノートレポートの提出	グループワークの発表	ノート、レポートの提出	定期テスト・小テストの実施

学年	学習単元	学習方法	評価のポイント
3年	第1編 現代の政治 第3章 現代国家と民主政治	国内政治や国際政治の基本的事項や課題に対する関心を高め、民主政治の本質を探究する姿勢を身につける。人権保障、国民主権、法の支配など、民主主義の原理やその発展について学習する。	民主政治の成立過程と基本原理を理解できたか。 民主政治の課題について考察できたか。
	第4章 日本国憲法と基本的人権	日本国憲法の成立過程をふまえ、憲法の三大原則を学習する。日本国憲法における基本的人権の保障の内容を学習し、今日における日本国憲法の意義を理解する。 国会、内閣、裁判所さらには地方自治など日本の統治機構に関する学習をして、その課題について考察する。 日本の政党政治や選挙制度の特質を把握するとともに、望ましい政治や参政のあり方について考察する。	世界の主な政治制度（アメリカ・イギリス・ドイツ・中国）について理解できたか。 日本国憲法の成立過程と基本原理について理解できたか。
	第2編 現代の経済	基本的な経済の仕組みを学習するとともに、日本経済の現状やその課題、国際経済の動向などを考察する。	資本主義と社会主義の経済体制の差異を理解できたか。
	第1章 経済社会の変容	資本主義や社会主義という経済体制の特質を理解し、その変容を概観する。市場のはたらきや国民所得、景気変動など経済の基本的事項を考察する。	バブル経済崩壊から「失われた20年」までの道程を理解できたか。
	第2章 現代経済のしくみ	バブル経済と金融、財政の課題などを理解し、租税の意義も考える。 バブル経済とその崩壊後の不況、という現状に至る日本経済の流れを追い、経済成長や景気変動、金融・財政政策という理論的既習事項を現実の歴史の中で具体的に学習する。	

	<p>第3章 現代の日本経済と福祉の向上</p> <p>第4章 現代の国際経済</p>	<p>公害や労働関係、社会保障といった日本経済が直面する課題について学習し、今後の展望について考察する。</p> <p>貿易の意義や国際収支、為替相場の仕組みといった国際経済の基本的な事項を学習する。戦後の国際経済の流れをふまえ、地域統合や経済摩擦、南北問題など国際経済を取りまく課題について学習する。</p> <p>政治や経済に関する基本的な学習して、現代の政治や経済の諸課題を主体的に追及する態度を養う。</p> <p>地域社会の変貌と住民生活、産業構造の変化と中小企業、農業と食料問題、雇用と労働をめぐる問題、少子高齢社会と社会保障から、自由に取り上げた課題について追及する学習を行い、望ましい解決の在り方について考察する。</p> <p>地球環境問題、地球環境と資源・エネルギー問題、人種・民族問題、経済格差の是正と国際協力、国際社会における日本の立場と役割から、自由に取り上げた課題について追及する学習を行い、望ましい解決の在り方について考察する。</p>	<p>日本経済が直面する課題について考察できたか。</p> <p>現在の国際経済について理解できたか。</p> <p>現代社会の諸課題について考察できたか。</p>
--	---	---	--

平成29年度 地歴・公民科：公民演習

コース・単位数	3年：特進理系コース・特進文系コース（1単位）			
学習の到達目標	「正しいもの」を選ぶ、「誤っているもの」を選ぶ、組み合わせた選択肢から選ぶなど多様な問いがみられる。こうした特色を知って、これに合わせた問題演習が求められる。限られた学習時間で短時間に多くの問題に接することでリード文がなくても瞬時に設問を理解・判断できる力を養成する。			
教科書		副教材	センター試験への道 現代社会 問題と解説（山川出版社）	
評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
	積極的に授業内容を理解し、参加することができたか。	グループワークを通じ、役割を果たすことができたか。	板書等をノートに整理できたか。レポートを作成できたか。	定期テスト・小テストに向け、予習・復習ができたか。
評価方法	授業での発言、ノート・レポートの提出	グループワークの発表	ノート・レポートの提出	定期テスト・小テストの実施

学年	学習単元	学習方法	評価のポイント
3年	第Ⅰ部 現代の社会生活と青年	現代社会における諸課題について、地球環境・科学技術・高度情報社会についての問題演習を実践する。青年期の特徴を、グループワークなどで確認しあう。	自己の得点の弱点を結果から見つけ出せるか。 理解しあった内容が演習の問題として解答できるか。
	第Ⅱ部 現代の民主政治	民主政治の成立から、基本的人権の確立そして主要国の政治体制の特徴を演習の中から掴む。 日本国憲法の基本原理、新しい人権、平和主義と安全保障について演習の繰り返しから理解する。	
	第Ⅲ部 現代の経済社会と経済活動のあり方	経済のしくみを、市場経済の特色、市場の失敗と現代の企業について演習から理解する。 金融機関のはたらきをグループワークの中から互いに学びあい学習する。 中小企業、雇用、労働問題について理解を深め演習の実践を繰り返す。 国際社会の成立と国際機関の特色を学習する。	演習の結果から、反省と課題を見出すことができたか。 グループの活動から、受験に際しての語句の記憶や解答法につなげることができたか。
	第Ⅳ部 国際社会の動向と諸課題	冷戦後の国際政治の特色を学習する。 日本の外交とその役割について、グループワークから理解を深め合う。	演習の結果から、反省と課題を見出すことができたか。 自己の得点の弱点を結果から見つけ出せるか。
	第Ⅴ部 国際経済の動向と諸課題		